

豊 田 市 公 共 交 通 会 議

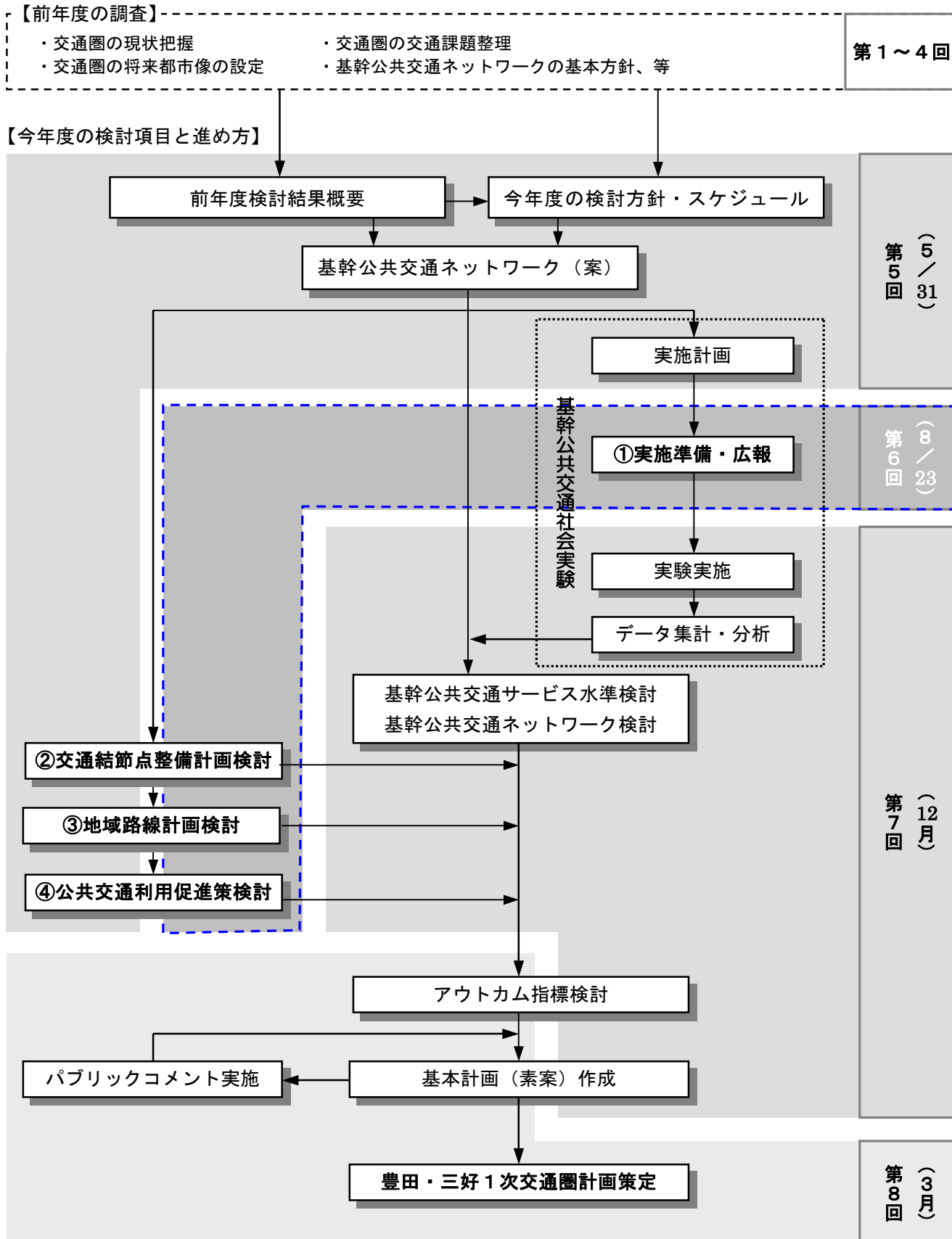
【第 6 回会議資料】

◆ 0. 全体構成と第 6 回会議での検討内容	1
◆ 1. 基幹公共交通社会実験	4
◆ 2. 交通結節点の検討	6
◆ 3. 地域路線の検討	17
◆ 4. 公共交通利用促進策の検討	18
◆ 5. 今後の検討スケジュール	23

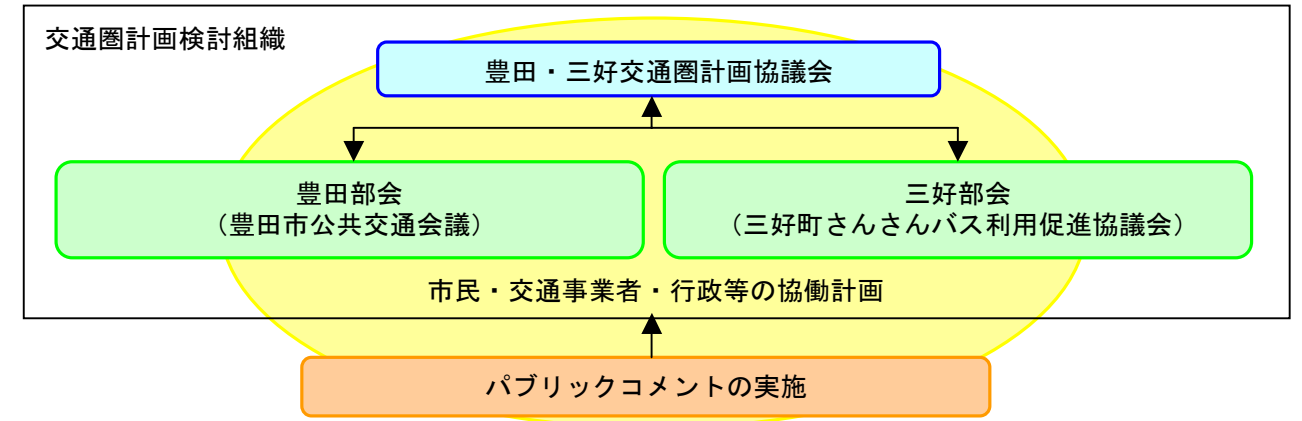
平成 18 年 8 月 23 日

◆ 0. 全体構成と第6回会議での検討内容

(1) 今回会議の検討項目



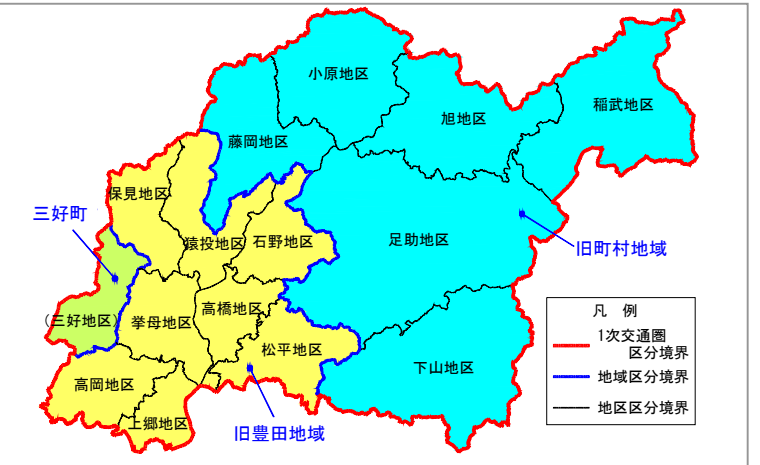
(2) 計画策定体制



(3) 対象エリアの構成

【対象エリアの構成】

- ◆ 1次交通圏
豊田市と三好町を合わせた圏域を1次交通圏とする。
- ◆ 地域区分
豊田市合併前の旧豊田市と旧町村地域、及び三好町の3地域に区分。
- ◆ 地区区分
豊田市合併前の各町村と旧豊田市8区分、及び三好町の15地区に区分。

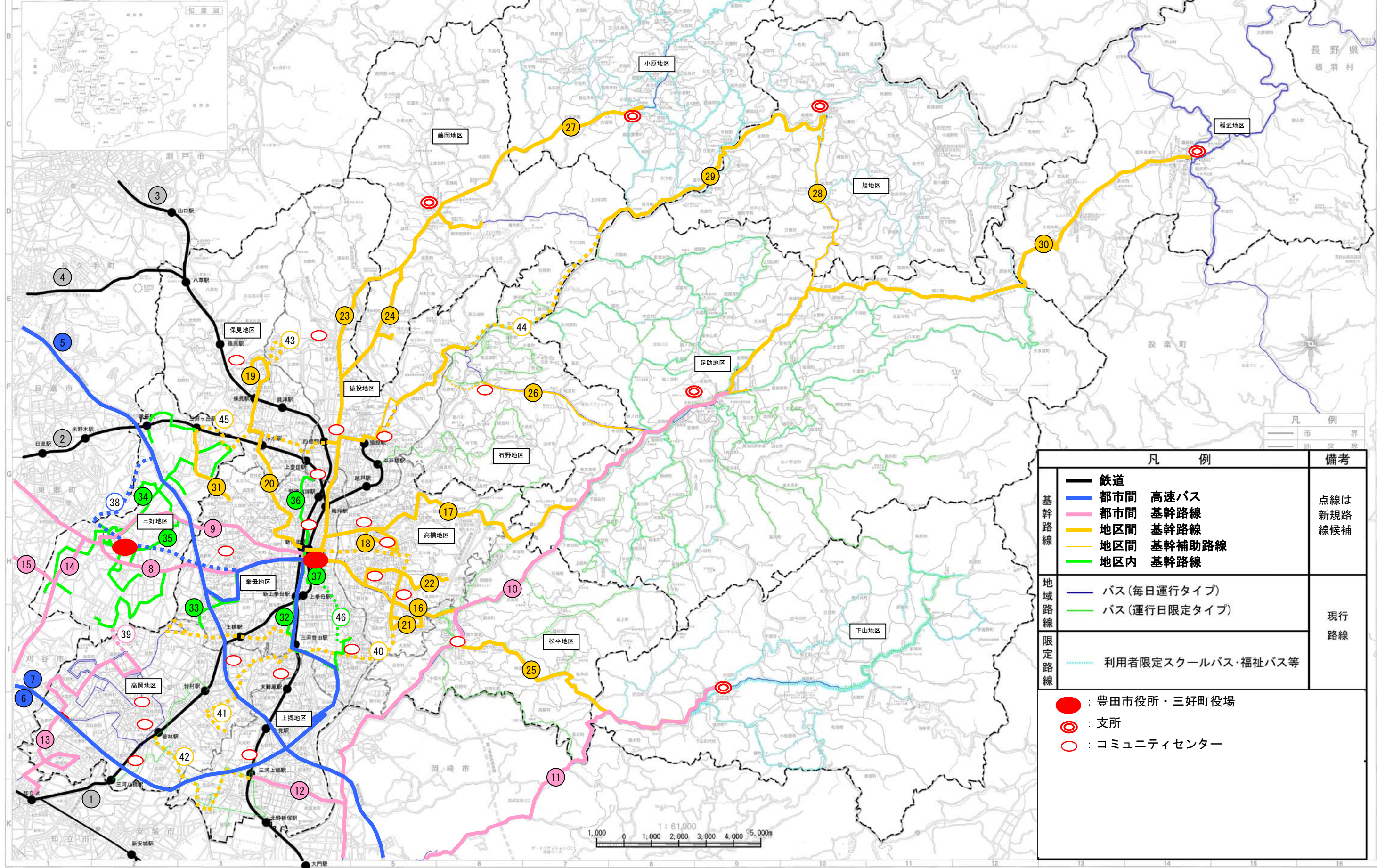


(4) 前回（第4回：6/26）協議会の検討内容

- 前年度の検討結果概要
- 今年度の検討方針・スケジュール
- 1次交通圏計画と各部会の連携方針
- 基幹公共交通ネットワーク（素案） ⇒ 次頁参照
- 基幹公共交通のサービス水準設定方針
- 基幹公共交通社会実験計画（案）
- 端末交通の検討方針
- 交通結節点の整備方針と検討手順
- 公共交通利用促進策の検討方針

豊田・三好1次交通圏 公共交通 基幹ネットワーク素案

町別区域図



凡例		備考
基幹路線 黒線 鉄道 青線 都市間 高速バス 紫線 都市間 基幹路線 黄線 地区間 基幹路線 黄線 地区間 基幹補助路線 緑線 地区内 基幹路線		点線は新規路線候補
地域路線 青線 バス(毎日運行タイプ) 緑線 バス(運行日限定タイプ)		現行路線
限定路線 点線 利用者限定スクールバス・福祉バス等		
● : 豊田市役所・三好町役場 ○ : 支所 ○ : コミュニティセンター		

◆ 1. 基幹公共交通社会実験

1-1 実験の目的

- ① 基幹バスとして適切なサービス水準の検討
- ② 社会実験の広報・実施を通じたバス利用意識変化の把握

1-2 実験概要

項目	運行本数の実験路線 名鉄バス藤岡線		料金の実験路線 さなげ足助バス	
	現状	実験	現状	実験
運行時間帯	6～20 時台	6～22 時台	5～22 時台	現状と同様
運行本数	24 本 (全系統)	41 本 (全系統) ※増便は平日の西中山経由	16 往復	現状と同様
運行頻度	6～8 時台: 6 本 9～15 時台: 10 本 16～18 時台: 6 本 19～20 時台: 2 本 <small>(起点の出発時刻からみた時間帯別運行本数)</small>	6～8 時台: 10 本 9～15 時台: 15 本 16～18 時台: 11 本 19～22 時台: 5 本	各時間帯: 1 本/時	現状と同様
料金	対距離区間制	現状と同様	段階制	ゾーン制
	160～780 円		100～600 円 (乗車区間により異なる)	同一ゾーン内: 200 円 1ゾーン間: 200 円加算 ゾーン区分: 旧豊田市内 旧足助町
実験期間	平成18年9月1日(金)～12月28日(木)			

1-3 広報活動

(1) 広報チラシ・ポスター

- 広報用チラシをA4版両面カラー刷り(別紙参照)で作成し、下記方法により広報を実施。
- ① 対象路線沿線施設(主な学校・金融機関・郵便局・商業施設・病院、等)にチラシを配布
- ② 対象路線沿線世帯に自治会を通じてチラシを回覧
- ③ 主要なバス停・施設にポスター・チラシを掲示
- 広報用チラシの内容をベースにインターネット上に掲載
- ④ 豊田市移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」で公開 (<http://www.michinavitoyota.jp/>)



1-4 実験データ収集計画

(1) 調査実施予定

調査項目	調査路線	
	名鉄バス藤岡線	さなげ足助バス
乗降者数調査	毎月(9月～12月)平日1回実施	毎日事業者が実施
アンケート調査	利用者	10月中下旬の平日1回実施(乗降者数調査と同時)
	沿線住民	10月中下旬に実施(配布・回収)

(2) 調査方法

- ・バス乗降者数調査(名鉄バス): バス車内に調査員を配置し、各バス停の乗車・降車人数を計測する。
- ・アンケート調査(利用者): バス車内に調査員を配置し利用者へ直接手渡し配布。回収は郵送とする。
- ・アンケート調査(沿線住民): 沿線地域の世帯に対し自治会を通じて調査票を配布。回収は郵送とする。
※アンケート調査票は、質問と回答欄(選択肢)一体形式(A3両面を想定)とし、封筒により回収を予定。

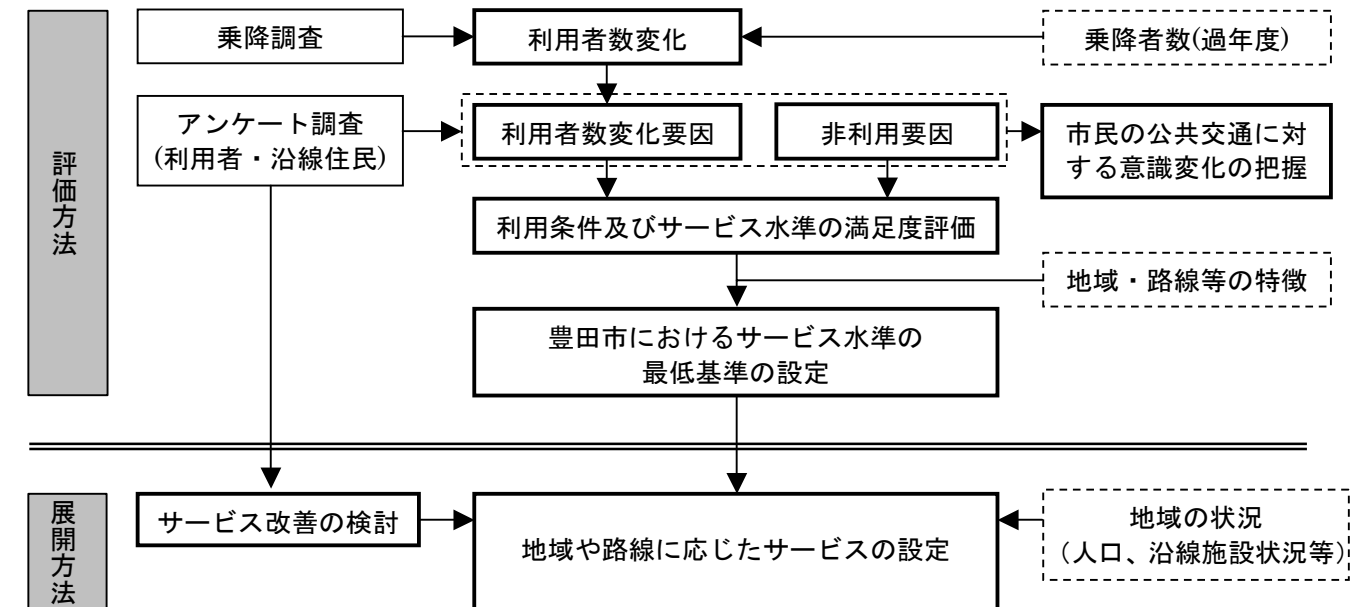
(3) アンケート調査内容

■ 目的

- ・利用者アンケート: 利用増、交通手段転換の有無とその要因の把握から、サービス水準(運行時間帯・運行頻度・料金)と市民の利用意識変化を分析。
- ・沿線住民アンケート: 主に非利用者に対して非利用の主要因を把握し、サービス水準(運行時間帯・運行頻度・料金)と市民の利用意識変化を分析。

■ 質問項目(次頁参照)

1-5 評価と展開方針



■ アンケート調査質問項目

